

学術とスポーツの
真剣味の殿堂たれ



発行 三重高等学校
〒515-8533
三重県松阪市久保町1232
電話 0598 (29) 2959
FAX 0598 (29) 6944
Eメール infomieh@mie-mie-h.ed.jp
印刷 (株)アイブレーション
題字 佐久美 泉涯

卒業式に思いを寄せて

校長 中谷 文弘



今振り返ってみますと、小学校から大学に至るまで、これまで学校の卒業式が4回ありましたが、出席できたのは2回だけでした。小学校の卒業式には同級生27名と一緒に出席し、式終了後、教室に戻った後、担任の先生が教壇の前で、一人ひとりに励ましの言葉をかけていただいたことを今でもよく覚えています。中学校では同学年が4クラスあり、式ではクラスごとに名前が呼ばれ、クラス代表が校長先生より卒業証書を渡されていましたが、その後のことはあまり記憶に残っていません。小学校の頃のようにアットホーム的というより、儀式的な要素が強

く、淡々と式が進行していたことにもありますが、何と言っても高校入試の結果がわかる前でもあり、私自身の気もそぞろだったのがその一因だと思います。高校の卒業式は欠席しました。直後に大学入試を控えていたこともあり、「卒業式どころではない」との思いが当時はありました。今思えば、「人生に一度の大事な式であり、出席する時間ぐらいいを惜しんでどうなんだ」と当時の私を非難したくなります。

大学の卒業式には驚きの思い出があります。卒業生が会場に集合し、式が始まり、学長の式辞が始まるや否や、一部学生が壇上に乱入し、マイクを片手に持った学長が「卒業生みなさん、おめでとう」と叫ばれたのが最後、式は中断され流れました。大学紛争のあおりで入学式も挙行されず、卒業式までもかと、当時、ある意味感慨深げな思いを抱いたものでした。

教員となり、40年以上が過ぎ去りました。新入生を迎え、卒業生を送るといった年月を繰り返す中、これまで、「生徒にとつての3年間に、いかに自分なりの足跡を残せるか」を教員としての行動基軸に据えて行動してきました。クラス担任をしたのは14年ですが、そのうち12年は3年間持ち上がりで担任をし、特に直接生徒との関りが深かったこともあり、その時の卒業式は強く印象に残っています。初めて3年生を担任した時の卒業式では、卒業証書授与の際の進行は、担任がクラスごとに名前を読みあげ、クラス代表生徒が一人、壇上で校長から卒業証書を渡されるやり方でした。何日か前から自分なりに練習をし、当日はできるだけ会場の生徒の顔を見ながら名前を読み上げるよう

心掛けました。式が終わる、柏原芳江の「春なのに」の歌が流れる中、卒業生が退場する際には思わず涙が流れました。別の学校に転動になり、最初の卒業式では、司会者が「閉式の辞」と言ったところ、会場の卒業生から「ちよつと待ったあ」と声がかかり、壇上に上がっていき、何やらしゃべり始めたのにはびっくりしました。後で同僚に聞いたところ、ここ何年か、こうして式の最後に卒業生から声がかかり、高校生活への思いをしゃべるのが慣例になっているとのことでした。



令和元年度 三重高等学校卒業式

式辞

学校法人三重高等学校

理事長 梅村光久

三重高等学校を卒業される皆さん、ご卒業、誠にありがとうございます。学校法人を代表して心からお祝い申し上げます。

また、お子様を本日まで、大切に支えてこられた保護者、ご家族の皆さま方に心よりお慶び申し上げます。お子様の在校中には三重高等学校の教育方針に、深いご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

皆さんの新しい門出を迎えるにあたり、私たちの感慨はひときわ深いものがあります。三重高等学校は、松阪市をはじめとする地域の皆さまから

強い要請をいただき、

1961年（昭和36年）

に開校しました。それから数えて、皆さんは、57期生になります。これまでの卒業生は、皆さんを加えて4万人を超え、多くの同窓生の皆さんが全国で活躍をされています。皆さんが4月から迎える各々のステージにおいても、母校を同じとする同窓生は、必ずや卒業生の皆さんを支えていた

だけの存在となります。どうか、皆さんも三重高等学校の同窓生としての誇りをもってほしいと念願致します。

三重高等学校の半世紀

を超える歩みは、めまぐるしく変容する社会の要請や教育の在り方を見極め、厳しさを増す私学経営に対応できる変化の積み重ねでありましたが、お陰さまで文武両道を兼ね備えた私立高校として高い評価をいただけるようになりました。これは、勉学や部活動など様々なフィールドで、不変の建学の精神である「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」を実践してきた卒業生の皆さんを含め、歴代の生徒の皆さんの奮闘のお陰であります。

卒業生の皆さんの活躍は学校や地域の皆さんに勇気を与えてくれました。まず、昨年、全国高等学校総合体育大会へは6競技、45名の生徒の皆さんが出場を果たしました。女子ソフトテニス部は団体準優勝、個人戦においては浪岡さん、藤城さんのペアが第3位という結果を残してくれました。また、自転車競技ス

プリントにおいては、小西君が第6位に入賞をしました。さらに、浪岡さん、小西君はそれぞれの競技の日本代表として飛躍を遂げました。ダンス部は、全国高等学校チーム選手権では3位、さらには環境大臣杯においては初の全国優勝を果たしました。本年に入ってから、女子バレーボール部が第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会へ3年連続で出場し、ベスト16という見事な成績を残しました。只今、披露させていただいた以外にも様々な大会で素晴らしい結果が続きました。皆さんの活躍に改めて敬意を表したいと思います。

さて、皆さんは「六学制」と「特進」「進学」の三コースに分かれて、将来の確かな人生に備えた学力や体力、気力の向上に取り組んできました。本日の、高校卒業は「自立」への第一歩です。生活面でも、

学ぶスタイルに切り替えてください。卒業生の皆さんが、自らの力で、逞しく成長されることを心より祈念申し上げます。本日は、ご卒業、誠にありがとうございました。



令和元年度 クラブ活動結果報告 (1月～2月)



全国大会

バレーボール部	第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会 (春高バレー) 女子 出場		
弓道部	第38回全国高等学校弓道選抜大会 男子 団体戦 5位 上田 侑矢 (2T1)・川北 圭介 (2K1) 女子 出場 伊藤 龍斗 (2T1)・世古 智哉 (5B)		
将棋部	第28回全国将棋新人大会 出場 北橋 きらり (1T2)		

東海大会・中部大会

ソフトテニス部	第50回東海高校選抜大会 男子 団体戦 優勝 個人戦 2位 林 樹杏 (2K3)・岩本 幸大 (2K3) 3位 仲川 晴智 (1S5)・近藤 拓空 (1K2) 前川 瞬希 (1S5)・山村 心 (2K4)		
演劇部	第72回中部日本高等学校演劇大会 奨励賞		
剣道部	第6回東海高校選抜大会 男子 団体戦 3位 女子 出場		
バレーボール部	第25回東海私学大会 男子 5位 女子 優勝		



県内大会

ソフトテニス部	新人戦	男子 団体戦 優勝	女子 団体戦 優勝
剣道部	新人戦	男子 団体戦 優勝 個人戦 優勝 藤堂 文太 (1K4) 2位 中西 健吾 (1S5) 3位 野田 修市 (2S1) 女子 個人戦 3位 藤本 有紅 (2S1)	
サッカー部	新人戦	男子 優勝 (17年ぶり、3回目)	女子 準優勝
バレーボール部	私学大会	男子 優勝	女子 優勝
	新人戦	男子 3位	女子 2位
ゴルフ部	新人戦	男子 2位 西山 光 (2K1)	女子 2位 長田 莉子 (2S3)

特別活動



藤原 陸 (2K1)

**ドッジボール2019
J.D.B.A.全日本選手権**
(日本ドッジボール協会
主催 令和元年10/20
静岡市このはなアリーナ)
チーム松阪SC・Returns
優勝

濱口 晃輝 (2K1)

**第19回毎日パソコン入力
コンクール全国大会**

(毎日新聞社主催 令和元年12/8
東京国立オリンピック記念青少年
総合センター)

基礎学力向上漢字中・高校生の部 5位

**MOS(マイクロソフトオフィス
スペシャリスト)世界学生大会
2019国内大会**

(オデッセイコミュニケーションズ主催)
高等学校・高等専門学校・高等専修学校
エクセル部門 入賞



活動
報告

ハーバード模擬国連に参加しました

1月25日から2月2日まで、ボストンでハーバード模擬国連が開催されました。その名が示すように、35の委員会で国連と同様に、飢餓、人権、差別、汚染など地球規模の問題が話し合われました。本校からは4年生2名がIAEA（国際原子力機関）に、5年生2名がUNESCO（国際連合教育科学文化機関）に参加しました。各委員会では世界52か国から集まった出席者と席を並べ、現状に対する判断や問題点の確認を経て、解決策に至るまでの白熱した討議に参加しました。

各国の利害や複雑な要素が絡みあう問題はなかなか合意に至らず、お互いの主張が飛び交う時間が長くなる場面もありました。議論は連日深夜まで及びましたが、参加した4人はそれぞれの委員会で最終決議案の合意に積極的に関わりました。4人にとっては準備に4か月をかけた長い取り組みでしたが、4日間を通して世界の枠組みがどのように作られているかを知る貴重な機会になりました。

【参加生徒】

UNESCO	5A 伊藤 夕莉
	5A 梅村 美香
IAEA	4A 鈴木 愛弥
	4A 角野 百千



世界の中心に向かう

4A 鈴木 愛弥

私たち4年生は「国際原子力機関」という部門でこの大会に参加をしました。昨年から準備をしていましたが、話す相手がネイティブということもあり不安でいっぱいでした。しかし、最初のスピーチをし終えた時、隣に座っていたオーストリア代表が「Good」と声をかけてくれ一安心し、同時にコミュニケーションの取り方を教えてもらった気がします。

私たちは原子力発電にフォーカスして十分な準備をして会議に挑んだつもりでした。ですが、各国代表は原子力発電だけでなく核兵器、また自国が目指す政策に必要な予算、期間までも提示していました。さらに彼らは私たちが準備してきたはずの原子力発電の知識をも凌駕し、日本語ですら知らないことを当然のように主張していました。彼らの知識はすさまじいものと知り、同時に私たちの準備の不完全さを思い知らされました。何らかの活動をするときは彼らのように多角的に物事を見て、あらゆる可能性を考慮して熟考する必要があるのだと改めて感じさせられます。

私は英語に不安を抱きながらも心のどこかで何とかなるとも思っていました。ところが相手の話す速度が速く聞き取れないだけでなく、話す内容が専門的ということもあり、私の英語力ではまったく太刀打ちできませんでした。これは私にとって悔しいことで、今後の英語の学習への大きなモチベーションとなりました。英語力を磨く不可欠だけでなく、模擬国連、その後の日本大使館や国連本部の訪問を通じて目の前に広がった世界の課題、それに取り組む政治の在り方、そして将来私がそれらとどのように向き合うかなどを考えさせられたこと。私はこのようなことを得られたことを嬉しく思い、このような機会を与えてくださった先生方への感謝の気持ちを忘れずにこれからも学校生活を送っていきたいです。

新しい自分を見つけた4日間

5A 梅村 美香

参加が決まったと同時に大会は始まっていた。とにかく準備の質と量が不可欠だからだ。大会の公式サイトを徹底的に読み込み会議の内容が明らかになるにつれ、準備の量が何倍にも増えていった。まずは私たちが代表をする「リビア」という国を理解し、リビア代表としてどの視点から議題に取り組むか、膨大な量のリサーチを4か月かけて行った。何度もペアと討論しながら、時にはぶつかりながら、私たちは最終的に2つの観点から主張をすることとなった。

会議当日、第1回目の討議で私はスピーチのトップバッターを務めることになった。何を話したか覚えていないほど緊張したが、その後の4日間はあっという間だった。会議中に痛感したことは他国の代表者の自信と積極性だ。発言権を求めて何度もプラカードを挙げる代表者や、自由討論の時間に熱く政策を語る代表者を見て、負けてられないという思いが湧き上がってきた。この4日間のために準備をしてアメリカまで来たのだから後悔はしたくないと強く思った。相手の主張を理解し書き取り、自らの主張を英語で発することを同時にするのは大変だったが、時間が経つにつれ討論を楽しむことが出来た。正式討議では、再度スピーチに挑み、他国代表者の人をひきつけるような語り口調を真似して、今度は自信を持って力強く発言することができた。スピーチや他国とのコミュニケーションを通して今までと違う自分を見つけることができた。

大会後、ハーバード大学の学生の「人との出会いは何にも変え難い一生の宝物だ」という言葉に大変に共感した。今回、協力をしてくださった先生方やエールを送ってくれた友人など、周りの人の支援なしでやり遂げることは出来なかった。また、今回の模擬国連で世界中から集まった高校生に刺激され、私自身が大きく成長することができた。



伝達
表彰

第6回みえの森フォトコンテスト

優秀賞 5B 山元 奏弥

第54回全国野生生物保護実績発表大会

文部科学大臣賞 科学技術部 4A 角野 百千 1C 石川 恵雅

日本国憲法企画「憲法動画コンテスト」

高校生以下の部 金賞 4A 山田 淳也

第23回全国高校生創作コンテスト(國學院大学・高校生新聞主催)

俳句の部 佳作 5A 高濱 颯太

人権の大切さを「見える化」しよう。

4A 山田 淳也

私は将来美術系に進路を考えていて、それに向けて準備を進めています。その中で「制作課題として、動画コンテストに応募してみないか」という言葉をかけていただくことがありチャレンジをしました。「基本的人権の尊重」という非常に難しいテーマでしたが、「人権の大切さをわかりやすく表現する動画を自由に作る」ということで、将来へのチャンスだと思い、どうすれば身近な問題に感じてもらえるかを1週間ほど自問自答しました。実際に撮影するにあたっては、役者からスタッフまで同級生が協力してくれて、納得がいくまで作り直すことができました。この動画作りを通じて改めて「人権を傷つける」ということの危なさと、「思いを人に伝えるためにどうするか」ということについて深く考えることができました。将来の夢に向かって、これからもいろいろなチャンスを活かしていきたいと思います。



僕の自信に

弓道部 5B 世古 智哉

僕は昨年末に群馬県で行われた第38回全国高等学校弓道選抜大会において、男子団体のメンバーとして出場し、全国第5位という成績を収めることができました。予選から三度の試合を経て、男女そろって出場を決めたこの大会。他県の選手の高い技術に刺激を受けたことはもちろんですが、大きな大会独特の緊張感など、様々なことを経験し、多くのことを学ばせていただきました。そんな緊張の中、競技に集中し、力を発揮できたことは、弓道に限らず、これからの僕の人生における大きな自信につながりました。また、スランプや、勉強との両立で悩んだこともあった中、このような成績を残すことができたのは、僕達の練習を確保するために尽力してくださった先生方や、支え合ってきた部の仲間、何より家族の理解のおかげです。本当にありがとうございました。

活動
報告

三重中学校・三重高等学校が、「国連生物多様性の10年日本委員会」(UNDB-J)の連携事業に認定されました。



地球上の生きものは46億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、数千万種ともいわれる多様な生きものが生まれました。その生物たちは、生物多様性『生態系の多様性、種多様性、遺伝的多様性(遺伝子の多様性)』を持っていることが知られています。

その生物多様性の保全は、人間の暮らしを支える根幹であるといわれており、単にその場の自然環境を守るだけでなく、生物多様性の恩恵を受ける社会全体で生物多様性の価値を理解し、守る行動をしていかなければならないと考えられています。

生物多様性の重要性を知り、自然との繋がりを取り戻すことを目標として、2010年10月に名古屋で開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)で採択された、世界目標である「愛知目標」の達成に貢献するため、2011年から2020年までの10年間は、国連の定めた「国連生物多様性の10年」とし、国際社会のあらゆるセクターが連携して生物多様性の問題に取り組むこととされています。これを受け、「国内のあらゆるセクターの参画と連携を促進し、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する取り組みを推進するため、「国連生物多様性の10年日本委員会」(UNDB-J)が2011年9月に設立されました。

今回、本校は授業での取り組み(中学1年の海の学校、中

学2年の蓼科での夏季合宿、中学3年の愛媛大学およびとべ動物園での研修旅行、中高の通常の授業活動)、生徒会活動(海岸清掃・地域活動)、クラブ活動(科学技術部)が評価され、「国連生物多様性の10年日本委員会」の連携事業に認定されました。

1月17日(金)名古屋市のセンチュリーホールで行われた認定式には、学校代表として5A沖田龍之介さんが参加し、認定書を授与されました。



も？ええっと…モダンバレエ。次の人「え」
えがく未来の実現
いろんな経験ができて楽しかったです。
づから始まるものが思いつかなかった笑
る一ずな生活をしないように気を付けます。
はねをのばしたい。
る璃色の 澄んだ空へと 思い馳す
にこにこ笑顔が一番！

中須 優斗
中西 康太
中西 茉名
中村昂太郎
西村 颯真
野島 光貴
野田妃加里
野村 拓己

なんだかんだ楽しかった6年間。
りかい、そしゃく、きおく、ぼうきやく
に年間すごく楽しかった！
けっこう楽しかった6年間
るんるん♪やっと卒業。お疲れ様でした。
かんこく旅行に行きたい。
もっとも楽しかった6年間！

橋本 大
松永 穂
萬濃 美月
宮原 光彦
村田裕生帆
山岡さくら
弓岡 透真

6年D組

自分の道を

6D担任 神原 和子



それぞれの道に進んでいくみんなへ。

思い通りの進路に希望にあふれて春を迎える人、予想もしなかった進路に不安な気持ちで春を迎える人、神様なんていない、って思いながらつらい春を迎える人、…それぞれの道に、それぞれの思いで進んでいくことと思います。

それでも、誰にも春は訪れ、誰もが、「今」か

らがスタートです。

寒さに耐えた花ほど、強く美しく咲く。大丈夫。広い広い世界が、待っています。それぞれの道を、自分の足でしっかりと踏みしめ、進んでいてください。いつかきっと、「自分はこのために生まれてきたんだ」って思える瞬間に出会えるでしょう。それぞれの、素敵な人生を。卒業、おめでとう。



早めの出発心がけるだけで終わった6年間
長いようであつという間だった6年間
わが6年間に一片の悔い無し。
APPRECIATE
大変でしかなかった部活動
数学、体育、生指からの卒業。
推薦で使えることは積極的にやろう。
文武両道を常に一所懸命に。
一瞬。
楽しい学校生活を送ることができました。
6年間ありがとうございました。
厳しい校則だった。さすが進学校。
古の教えにとらわれずに生きような。
6年間ありがとうございました。
6年間ありがとうございました。
高校生活ありがとうございました。

石山 凜
市川 美侑
伊藤 奨吾
上川 雄飛
植木 悠斗
上田 咲音
大江 泰聖
大西 渉斗
岡井 愛登
小津 香琳
小野 菊伽
金児 隆史
川邊 由奈
河村 紗希
久米 悠斗
後久まどか

PTA会長がお世話になります。
しんどかった〜…？
やっと卒業できるぜ。
長かったようで短かった6年間。
6Dは優しい副級長にめぐられました
6年はワンピース観て終わった。
百川海に学びて海に至る
6年が一番早く終わった。
悔いのない楽しい6年間でした。
6年間ありがとうございました。
まじめな人間になりたい
6Dたのしかった！
最後に最大かもしれないニュース事変再生
なるようにしかならない
花咲き誇って夢
自分の運を信じれば、何でも起こる。

高瀬 翔己
高松遼太郎
田川 航多
多氣 楽夏
土井 爽馬
中 博生
中西 涼
西久保壮矢
濱田 蒼登
早川 奈那
日野 啓真
前川 夏葵
松井 涼乃
松井 悠亜
松田 夏帆
山中 幹太

6年C組

子育てを経験して

6C担任 北村 怜央



皆さんが中学校1年生の時のことです。3月に娘が産まれました。放課後、生徒の指導が終わってから職員室に戻り、ふと携帯を見ると、「産まれたって!」とメールが入っていました。急いで病院に駆けつけると、妻の横でスヤスヤと眠っている赤ん坊がいました。綺麗な整った寝顔で、たまにあくびをする仕草が可愛くて、何時間でも見ていられるような、そんな愛しさで一杯でした。

その後は、妻が育児休暇をとってくれたのですが、1年後すぐに会社に復帰したいということで、そこから私のイクメン生活が始まりました。妻は名古屋まで通勤しているため、私より朝も早く帰りも遅いです。だから、私が1歳の娘を起こし、朝ご飯を食べさせ、保育園に連れていき、保育園で夕食を食べさせてもらい、仕事帰りに保育園に迎えに行くという生活でした。仕事が長引き夜遅くに迎えに行くと、職員の方はすでに帰っていて、園長先生と2人で待っていてくれたこともありました。「パパ、もっと早く迎えに来て。お夕飯、おうちで食べたいよ。」と言われて悩んだ日もありました。

その後も、色々な葛藤に悩まされながら月日がたち、今月ようやく5歳の誕生日を迎えます。今でも通勤時に保育園に送っていくのですが、娘の横顔を見ながら「こいつと出会って、もう5年たつのかあ。」と、ふと思ったりもします。たぶんそのうち反抗期に入り、一言もしゃべってもらえない日がくるのでしょうか、それでも大好きな事には変わらないし、自分の命に替えてでも守らないといけない存在だと思っています。

君たちにも、そんな時があったことを、今思い出してほしいと思います。産まれた日には、両親、親戚、家族が抱き合って喜んだことを。仕事や人間関係等、色々な悩みを抱えながらも、一生懸命子育てをしてきた親の姿があったことを。高校卒業というこの節目に、今一度、親御さんに感謝の気持ちを伝えてほしいと思います。受験がひと段落したら、昔のアルバムなんかを見ながら、皆で思い出話でもしてみてもいかがでしょうか。三重で過ごした18年間の思い出を大事にして、次の新天地でも充実した日々を過ごしてくれたら嬉しいと思います。

最後になりましたが、6年間学年のサポートや指導に携わって頂いた、保護者の皆様、たくさんの先生方に感謝の気持ちを述べ、卒業の言葉とさせていただきます。



いつでも、和やかなクラスでした。
しー組の2年間最高に平和でした。
ばっくなんばーのライブ行きたい。
しょしかんてつのせいしんに。
るーぶを見つけて回路方程式を立てろ!

たたらを踏まずに過ごしていきたい。
るいは友を呼ぶから周りとは自分は似た者同士。
みんなと過ごした6年間は一生の宝物です。
のりの良いクラスで楽しかったです。

阿藤 寛奈
伊藤 綾沙
伊藤 圭佑
内田裕一朗
大西 章仁

大西 宝
岡田 美優
川村萌々華
木屋 元斗

うえを向いている自分だけを信じる。
えらんだ道を突き進みたい。
のびやかに過ごせた6年間でした。

さガルマータ知ってますか。
わらってますか未来の自分。
らいねんからは新天地へGO!
びたまんの重要性!
のびてほしい身長、おねがい。

神田 慧佑
小倉 響
坂口 椋耶

沢口 悠紀
鈴木 悠介
瀬口 佳活
程 顕瑋
長崎 香帆

楽しかった6年間
気づいたら6年間もいました
友達と楽しかった6年間
そこそこの6年間
ほのぼのハッピー6年間
6年間長かったなあ

多賀 光希
伊達 愛菜
田中 大資
天花寺連夜
西村なつみ
藤本 華衣

このクラスでよかった6年間
「級長」と呼ばれ続けた6年間
6年間を表すにはこの余白は狭すぎる
正直遊び散らかした6年間
一生の宝物の6年間
文学と音楽を愛した6年間

増田 祥之
松岡 篤希
三輪 魁成
村上 心
森田 優希
山本莉緒那

6年B組

予期せぬことにも淡々と

6B担任 澤田 真明



卒業生の皆さん、おめでとうございます。
それぞれの新しいステージに向けて、様々な絵を描いて、決意も新たにされていることだろうと推察いたします。

さて、つい最近のことですが、何気なく雑誌を読んでいて、イチロー選手のある言葉に出会って、深く感銘を受けました。

「自分が全く予想しない球が来たときにどう対応するか、それが大事です。試合では打ちたい球は来ない。好きな球を待っていたのでは終わってしまいます。」

ああ、私はこれまでに何度終わってしまっ

いたのだろうかと思いをしながらも、そのわかりやすい表現が琴線に触れて、しばらく自分自身のことを回想していました。

生きていて、全く考えていなかったことや予期していなかったことが起きます。真剣に準備して頑張ってもとんでもないことが起きます。失恋、受験、人間関係、その他諸々、若いときは特に試練です。

しかし、人生はトーナメントではありません。最期まで続く永遠のリーグ戦です。

卒業生の皆さんの人生が豊かでありますように。



いつかきつつくっちゃおう
ごめん、
すごいものつくっちゃおう
同窓会には行けません。
いま、シンガポールにいます。
この国を南北に縦断する地下鉄を
私は作っています。
つくるって楽しいよ～
本当は「あの頃」が恋しいけれど
やってみよう！
考えるとドキドキ
なんだかゾクゾク
ニヤニヤしちゃうよ～
こんなこと！
そんなこと！

青木 直央
泉 奈佑
岩瀬純一郎
大久保夢来
岡野 樹
加納 優花
河合由香子
川口 隼世
久野 桜佳
後久 拓海
齋藤 正真
酒井 俊輔
竹内 一真
竹内 優斗
田中 崇馬

あんなこと！
ぜったいぜったい
できるよね
でも、今はもう少しだけ
ほんとにほんとに
知らないふりをします。
私の作るこの地下鉄も
できるよね
きついつか
未来はすぐそこだよ
誰かの青春を乗せるから！
大成建設（たいせいけんせつ）
レッツゴー！
清水建設（しみずけんせつ）

土岐 慧都
中西 慧
西村 幸朗
日口 誠都
前田流羽矢
宮原 麻有
宮村野乃子
宮本 潤一
向井 七海
村木 稜
山口 瑠璃
山崎 楓華
吉崎 太一
吉村 俊哉

卒業おめでとうございます

六年制高校部主任 岡田 耕児



私は皆さんと同じく三重中高六年製の卒業生です。今年の1月2日に16年ぶりに同窓会がありました。久しぶりに再会した友人も多かったのですが、話をしているうちに懐かしい出来事が次々によみがえってきました。自分が10代の学生に戻ったような不思議な感覚でした。中学生、高校生時代の時間は非常に密度の濃いものであり、三重中高で友人と切磋琢磨した6年間の自分の礎になっていることをあらためて感じさせられた同窓会でした。皆さんはいつの日か母校を振り返って考えたとき何を思うのでしょうか。

皆さんの卒業を祝って次の言葉を贈ります。「幸せを手

に入れるんじゃない。幸せを感じることでできる心を手に入れるんじゃない。」これは私が大好きな甲本ヒロトさんの言葉です。たとえ幸せが目前にあったとしても、幸せを感じることでできる心がなければ、その幸せはいつまでたっても見えない。今ここに生きている自分や、周りの人、環境に感謝して、小さな幸せを感じ取っていききたいなあと。なるべく小さな幸せをなるべくいっぱい集めたいなあと。卒業おめでとう。これからの皆さんの活躍を楽しみにしています。

*6年A組

立ち入り禁止

6A担任 増井 陽一



「人生のハレ舞台は、ケの日を生きるために行うのですから、大切なのはケですよ。」初めて伝えたときのことをよく思い出します。

6年間の日常が終わりました。もう皆さんの日常はここにはありません。春からは新しい日常を懸命に生きてください。人生にとって大切なものはすべて日常にあり、励まなければならないことも日常にあるのです。

仕事を持ち、世界を知り、守るものが増え、成熟したころ、ただの社会人同士、話をしましょう。ただし、日常に迷い、立ち止まったときは、いつでも来てください。その例外を除いて、三重高校に遊びに来てはいけません。立ち入り禁止です。

最後に、6年間、特別な日常を頂きました。ありがとう。卒業おめでとう。ここから。



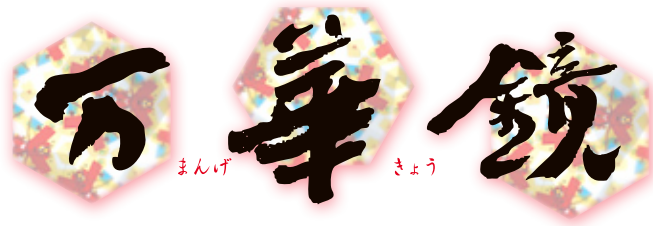
もっと勉強すればよかった6年間
いろいろあった6年間
記憶にないよ6年間
自転車漕いで足に筋肉がついた6年間
お前の命はあと6年間
6時間くらいに感じた6年間
仲間と築き上げた大切な6年間
一瞬で過ぎ去った6年間
思い出いっぱい6年間
ハピハピハッピー6年間
前半戦で力尽きた6年間

石井明日菜
石本 直也
伊藤 綾香
内田 彩希
浦田のどか
大中愛侑花
大西浩太郎
大西結衣菜
大野 好夏
大野 美優
岡田真由子

いっぱい笑った6年間
ミラクルハッピー6年間
忘れられない6年間
毎日幸せだった6年間
スペシャルハッピー6年間
エクストラハッピー6年間
長いようで短かった6年間
ハッピーオーラ溢れた6年間
スーパーハッピー6年間
ウルトラハッピー6年間
一言では言い表せない6年間

形神 絵理
加藤 愛理
株戸 悠
業天 孝基
小倉 薫
小坂 朋生
後藤 聖花
小林 大輝
酒徳 祐菜
柴田 奈穂
世古 彩乃

学術とスポーツの
真剣味の殿堂たれ



発行 三重中学校・高等学校六年制
〒515-8533
三重県松阪市久保町1232
電話 0598 (29) 4001
FAX 0598 (29) 6012
Eメール infomiej@mie-mie-h.ed.jp
印刷 (株)アイブレン
題字 鬼頭 翔雲



卒業おめでとう

三重中学校 校長 野田 佳均

6年生の皆さん、卒業おめでとうございます。保護者の皆様にも謹んでお祝いとお慶びを申し上げます。また、これまでのご支援とご協力に感謝申し上げます。

中等教育を終えた君たちに、私は毎年同じ話をしています。

まず、今日家に帰ったら何よりも、君たちは授与された卒業証書を親御さんにお見せしてきちんとお礼を言わなくてはなりません。この6年間、教育の場を与えていただいたことに、しっかり言葉にしてお礼を言いなさい。心からの感謝を言葉にしてほしいと思います。大切なはじめです。

これから先、三重中学校・高等学校の卒業生であることは一生続きます。これからも母校を応援して下さい。頼みます。そして、やがて社会に出た時には、本校で学んだ四大綱を体現し、即ち、ルールを守りベストを尽くしチームワークをつくり相手に敬意の持てる人間となつて、自らの選んだ分野で活躍して下さい。『私』の修養を経て『公』に尽くせる人間になって下さい。実力をつけて、仲間を助けることのできる人間になって下さい。

大人になれば、自分の判断で他人の生活が左右されるような場面があるかもしれません。辛く厳しい場面に立つこともあるでしょう。親御さんはいつまでも助けてはくれません。自分自身の力で、どうか挫けないで困難に立ち向かってほしいと思います。知性を磨いて、自分で

考えて、思いやりの心を持って、そして何よりも勇気を持って生きて下さい。自分に甘え、大人に甘え、社会に甘える若者になってほしくない、他人の批判には熱心だが自分の我儘には鈍感な人間になってほしくないと痛切に願います。

これからの人生で君たちに良い出会いのあることを願っています。師は必ず立ち現れます。君が見ようとし聞こうとするならば、心を澄ませて素直な気持ちで学ぶ姿勢を忘れなければ、必ず師は見つかります。そして、多くを学んだ後に、今度は君が後輩たちの道標になるのです。

偉くならなくてもちっとも構わない、私はそう思っています。ただ市井の一人として、そのおおらかさと誠実さとやさしさでもって、君の周りにいる人たちにとって小さな、しかし温かい火を灯して生きてほしいと思います。心にはいつも泉の如く滾々と湧く、枯れることのない真水を湛えていて下さい。今まで受けてきた愛情をこれからは君が与える番ですから。

最後に、朝礼などで事あるごとに君たちに言ってきた言葉を繰り返します。「世の中は努力以上のことは起こらない」ということ。もう聞き飽きましたかね。しかし私はこれを真実だと思っています。また、努力に見合う結果がいつも出るとは限らない、というのも本当だと思います。だからといって、努力を怠ってはいけない、これもまた確かなことです。宣長の言うように、「倦まず怠らず励みつとむること」だけが、私たちにできることです。結果は運命の女神に任せておけばいい、私はそう考えています。自分が継続して努力を続けているか、昨日の自分より今日の自分は成長したか、明日の自分は今日の自分より成長できるのか、その一点を見つめて頑張して下さい。

では皆さん、この6年間で身につけた、辛抱強く学ぶ意欲をもって元気に学び続けて下さい。

卒業おめでとう。諸君の人生に幸多かれと祈っています。